

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

## 製造業やリテール向けにエッジ AI ソリューションの PoC スターターパックを提供開始 短期間で映像データの有効性を検証

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、本日から、エッジ AI ソリューションの PoC (Proof of Concept: 概念実証)を短期間で開始できるスターターパックの提供を開始します。カメラが読み取った映像データをエッジデバイス AI で解析する仕組みで、業務効率化に取り組む製造業やリテールなどの企業を中心に展開します。直接販売に加えて、パートナー企業経由の販売も行い、3年間で100件の提供を目指します。

近年、店舗や工場施設、オフィスなどでの省力化や自動化を目的として、カメラやセンサーを活用した IoT システムを導入する企業が増えています。映像解析の技術も進み、映像から業務を可視化・データ化することで業務の改善やサービスの品質向上につながるツールとして、様々な場面での活用が期待されています。

今回のパッケージは、カメラと AI 機能を持つエッジデバイス、データを収集・蓄積するクラウドサービス、ダッシュボードの BI ツールが一体となったプラットフォームです。エッジデバイスは、AI による画像解析のアプリケーションを組み込んだ Raspberry Pi(ラズベリーパイ)<sup>\*1</sup>で、カメラで撮影した映像データはデバイスで解析し、クラウドサービスに保存されます。解析結果のデータはグラフィカルなダッシュボード機能で可視化される仕組みで、大規模なシステムを構築することなく、本格的な導入に向けたエッジ AI ソリューションの PoC が短期間で開始できます。また、収集したデータは、解析後に削除される仕組みのため、個人情報等を保有せずにプライバシーに配慮して PoC を実施することが可能です。

AI による画像解析は、人の属性推定、既存の計器の自動読み取りなど、複数の解析から選択可能です。例えば、店舗内での映像から来店者の性別・年代、滞在時間などを分析し、商品の仕入れや陳列に関するマーケティングに活用することができます。また、工場内にあるアナログ・デジタル計器を読み取り、記録作業を自動化して、作業の効率化や人為的なミス防止につなげることもできます。

アプリケーションの開発は、エッジ AI の高速化において高い技術力を持つ Idein 株式会社(代表取締役:中村 晃一、本社:東京都千代田区、以下: Idein 社)が担います。CTC は、2020 年から Idein 社と共同で AI/IoT ソリューションの開発を進めており、今回のパッケージの提供に加え、データの活用や分析のシステム構築で培ったノウハウを活かして、PoC やデータ分析のコンサルティングサービス、技術支援サービスなどを提供します。

今後も CTC と Idein 社は協業を進め、センシングや AI を活用したエッジコンピューティングソリューションを拡充し、お客様企業の DX や業務効率化に貢献していきます。

### ■Idein 社について

安価な汎用デバイスである Raspberry Pi 上での深層学習推論の高速化を実現した世界随一の高い技術力を有するスタートアップ企業です。当該技術を用いたエッジ AI プラットフォーム Actcast (<https://www.idein.jp/ja/actcast>)を開発し、実用的な AI/IoT システムを開発・導入・活用する開発者及び企業へのサービス提供を行っています。

<活用事例のイメージ図>



なお、今回のプレスリリースにあたり、以下のコメントをいただいております。

Idein 株式会社は伊藤忠テクノソリューションズ株式会社の「エッジ AI ソリューションの PoC スターターパック」の提供開始を心より歓迎いたします。

Idein は製造業・リテール企業様向けにエッジ AI ソリューションの提供実績を豊富に保有し、エッジデバイスの商用導入の累計台数は 15,000 台を超える規模にまで伸長しています。機密情報の保護とプライバシーへの配慮を実現し、またデータ通信量を小さくできるエッジ AI は店舗・商業施設、生産現場との相性がよく、本スターターパックにより各社様で AI 導入の検討が進むことは、デジタルトランスフォーメーション (DX) や生産性の改善が推し進められていくことにつながることを期待しています。

Idein 株式会社  
代表取締役 CEO  
中村 晃一

※1 ARM プロセッサを搭載した小型のシングルボードコンピュータ。Raspberry Pi OS には、プログラミング言語 Python がインストールされているため、機械学習のアプリケーション開発には最適な環境

※ その他、記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
広報部

E-mail: [press@ctc-g.co.jp](mailto:press@ctc-g.co.jp)